

石膏ボ、土質系固化材向けのリサイクル

(一社)石膏ボード工業会

ガイドライン作成協力へ

(二社)石膏ボード工業会(東京・港、須藤

永作会長)は6月3日、都内で通常総会を行

い、懇親会の冒頭、熊本地震の犠牲者への黙とうが行われた後、須



須藤永作会長

藤永作会長はあいさつに立ち「石膏ボードの出荷量は5億1000万平方メートルを超えていると思われていたが、景気の本格的な回復が消費税増税の再度の先送りなどもあり昨年並みの5億平方メートル程度に収まる見込みだ。また解体系廃石膏ボードリサイクル製品の市場拡大のネックとなっている建設用固化材向けの環境安全ガイドライン作成に協力していきたい」と述べた。

また第38回石膏ボード賞の授賞式が行われ、石膏ボード工業会

専務理事の林宏治氏が廃石膏ボードリサイクルの啓発活動などを通じて石膏ボード業界の地位向上・発展に貢献した功績により功労賞を、国立環境研究所、主任研究員の倉倉宏史氏が廃石膏ボードに関

するさまざまな研究や、石膏再生協同組合とともに作成した「再生石膏を用いた農業用土壌改良資材の環境安全品質ガイドライン」などが評価され、特別功労賞を受賞した。

